



2024年度
おさがりの靴をタイの子どもたちに
届けるプロジェクト

認定NPO法人SB.HeartStation



ご挨拶

ご支援いただいた皆さまへ

平素より、認定特定非営利活動法人 SB.Heart Stationの活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、皆さまからの温かいご支援により、タイの子どもたちへ靴や衣類、文房具をお届けすることができました。

これもクラウドファンディングをはじめ、仕分け作業のボランティア、現地での手渡しツアーにご参加いただいた皆さま他、本当に多くの方々のお力添えがなければ、実現できなかったことです。

本報告書では、寄贈の過程や現地での様子をお伝えするとともに、皆さまのご支援がどのように届けられたのかをご報告いたします。

あらためまして、心より御礼申し上げます。



認定特定非営利活動法人SB.HeartStation
理事長 趙 顕洙

そむちゃい吉田様 現地コーディネーター



タイ北部の山岳地帯では、山あいの急斜面を通学している子どもたちが少なくありません。普段履いているビーチサンダルでは滑るため、子どもたちは裸足で登り降りしています。例え靴があったとしても、その多くがおさがりや履き古されたもので、穴が空き、擦り切れていたりします。

日本から届いた靴を受け取った子どもたちは、誰もが満面の笑顔で喜んでいました。SB.HeartStationの支援は貧困に対する一時しのぎにしかならないかもしれません。

しかし、何もしなければ靴を履かずに歩き、怪我をさせるような状況を放置することになります。

また、物質的な支援に留まらず、タイの子どもたちの心に、日本からの支援という記憶の種をまき、いつか芽吹く子もいたりします。

中進国の仲間入りをしたタイですが、発展の影で取り残されている子どもたちは少なくありません。日本の子どもたちには、この活動を通して世界には様々な環境で生きている子どもがいることを知ってほしいと願っています。



贈呈品目

靴5,236足、サンダル746足、長靴525足、衣類4,035着、
サッカーシューズ629足、サッカーボール137点、
靴下709ペア、鉛筆4,200本、消しゴム780個、
ノート800冊、ボールペン325本、削り器12個



贈呈先



チェンマイ

ワット・プラプタドーイパーソム学校、希望の家、チェンダオ郡ムアンコーン

メーホンソン

クンユームウィタヤー校、市立クンユーム小学校、バーンメートーブヌア小学校、メーオー小学校、マヒンルワン小学校、パントーン小学校

チェンライ

ポンプーフエン小学校、ドンマダ小学校、
Chiangrai Organic Agroforestry Foundation

ランブーン

ランパーン

ケーラーン区、バーンメータム

ルーイ

ナーハオ

パヤオ

タムパラード小学校

ペチャブン

カンチャンブリー

虹の学校

サラブリー

チョンブリー

シーラチャバーンバンブラ小学校、シーラチャワットバンナー小学校

ラオス

ルアンパバン県ボンサイ郡パクホク村小学校



靴が現地に届くまで

靴仕分け作業ボランティア



奇数月の第4土曜日に、届いた物資の仕分け作業ボランティアを開催しています。毎回30名を超えるボランティアさんが集まって、靴の分別や、梱包を手伝ってくれています。



長年、協力してくれているのが大宮工業高等学校インターアクト部の学生さんたち。2年生の小島君と鈴木君に感想を聞いてみました。



(鈴木君) 誰かのために貢献してみたいと思ってボランティアを始めました。

(小島君) 始めはボランティア=いい人ぶってるというイメージがありましたが、やっているうちにすごく良いことだと思えるようになりました。

(二人) 色んな年代の人が参加していて、普段話す機会のないような人たちと話すことができ、人間関係が広がりました。誰かのためにみんなで協力し合う経験にもなっています。

また、世界には靴がなくて困っている子どもたちがいることも知ることができました。

靴が現地に届くまで

2024. 8月～10月 クラウドファンディング



8/19～10/7の期間、Readyforにて「おさがりの靴をタイの子どもたちに贈るためのクラウドファンディング」を実施。集まった総額は1,584,000円。150名の方が支援してくれました。クラファン終了後もタイの子どもたちのためにと沢山の方からご寄附をいただきました。



バス★ロビさんのクラファン応援ライブ



ナナコライブラリーFM出演。DJnanako様と



ご支援いただいた深谷ビジネスクラブ様

応援のメッセージ

KK様

応援しています！頑張ってください！
息子より
「ぼくのくつをやくだててください！がんばってください！」

Okuhira
Yoshihiro様

SBハートステーション様のツアーに参加させて頂き、海を超えて行く一足の靴が、子供達の笑顔に変わる瞬間を体験致しました。素晴らしい活動をこれからも応援致します。

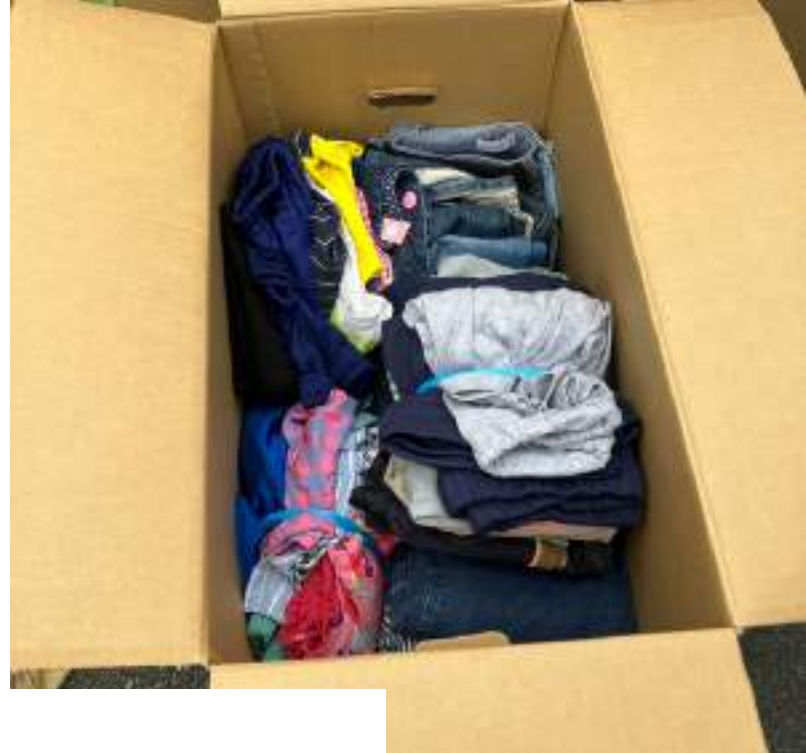
うち5万円以上のご寄付をいただいた方をご紹介します

SB.HeartStation応援する会様、岡田様、さいゆうきょう様、財務プロ様、(株)サン・ラック様、SANWA様、Shinya Fukuchi様、田島電機株式会社様、趙頭真様、(株)データケア様

(五十音順)

達成できるか、途中不安にもなりましたが、沢山の方が拡散に協力してくれ、目標を超えたご支援をいただくことができました。本当にありがとうございました。

靴が現地に届くまで



2024.10月 コンテナ準備～積み込み



コンテナへの積み込み作業。積めるだけ積み込み合計260箱。



コンテナに積む準備をしてくれたボランティアの皆さん

靴が現地に届くまで

2024.11月 レムチャバン港到着～各地へ配送



靴を載せ、埼玉を出発した20Fコンテナが、11/15にタイのレムチャバン港に無事到着。
関東ロジスティックス様とUTMOST様のご尽力のおかげで、最難関の税関検査もクリアし、現地保管倉庫へと靴を運び入れました。
ここで260箱の物資の数や品物を確認しながら、仕分けをします。

配送の手続きや準備をしてくれたそむちあい吉田氏とLucky Warehouseの皆さん



贈呈先はタイ各地にわたるため、保管倉庫から陸路で輸送します。
倉庫まで取りに来てくれた方もいました。

子どもたちのもとへ出発！
無事に届きますように



靴が現地に届くまで

2024.12月
子どもたちのもとに靴が到着



ルーイ県ナーヘオ



チェンマイ希望の家



パヤオ県タムパラード小学校



サンクラブリー虹の学校



靴が現地に届くまで

2024.12月
子どもたちのもとに靴が到着

ペチャブン県内の小学校



バーンメートーブヌア小学校



靴が現地に届くまで

2024.12月
子どもたちのもとに靴が到着



シーラチャバーンバン普拉小学校



シーラチャワットバンナー小学校



靴が現地に届くまで

2024.12月
子どもたちのもとに靴が到着



メーオー小学校



マヒンルワン小学校



クンユアムウィタヤー校サッカー部

靴が現地に届くまで

2025. 1 子どもたちのもとに靴が到着

ランパン市ケーラーン区



ランパン市バーンメータム



靴が現地に届くまで

2025.1
子どもたちのもとに靴が到着

チェンダオ郡ムアンコーン



ラオスパクホク村小学校



2024.12.2(月)～6(金) タイ手渡しツアー報告

タイ北部に位置する都市チェンマイ。古くからの寺院が数多く点在し、多くの観光客が訪れています。周辺を山で囲まれていることから、トレッキングツアーや山岳民族の村への玄関口となっています。今回のツアーでは、チェンマイを拠点に、メーホンソン県、チェンライ山岳部に住む子どもたちへ靴を届けに行きました。



ワット プラタート ドーイパーソム (チェンマイ)
クンユームウィタヤー校 (メーホンソン)
Hempsom Thailand (チェンライ)



日本からはSBの理事の2名を始め、顧問のリーゼント刑事秋山さん、PR大使のバス★ロビさん、事務局1名が参加。

タイからは今回の寄贈のコーディネートをしてくれたそむちあい吉田さんとバンコクで清掃ボランティアをしている団体EFFより横尾さんが駆けつけてくれました。

上段左からバス★ロビユウジさん、バス★ロビリョーコさん、田中事務局、そむちあい吉田さん、宮口理事
下段左から秋山さん、佐藤副理事長、横尾さん



バス★ロビ
リョーコさん

コーヒーを販売し、カフェ経営をして学校の運営費にしている子どもたちがいる。そんな地域を日本のメディアは報道しません。

そして、女の子の髪を結っていた白いリボン。タイの流行なのかな？と思い調べてみると政治的な意味があると知りました。

こんな10代の子たちが国に主張しているのに…政治に消極的で無関心寄りな自分を少し恥じました。

SB.Heart Stationはどんなことをしているのか、子どもたちはどんな子たちなのか、どんな町並みの場所に手渡ししているのか…等、次回は密着取材のように動画で配信できたらと思いました。1人でも多くの人に興味を持ってもらいたいです。



バス★ロビ
ユウジさん

前回参加させて頂いたフィリピンツアーに続き、子どもたちの笑顔、明るさに癒され、元気をもらいました。

靴に関しては、足が大きな子も多く、サイズが合う靴がなかなか見つけられない場面が見受けられたので、大きさや綺麗さも含め、仕分けボランティアでの選別の重要性を手渡しツアーに参加できない方にもお伝え出来たら良いなと思いました。

皆により喜んで受け取ってもらうためにもより良く出来たらと思います！
また是非参加させて頂きたいです。ありがとうございました！



12/3
TUE

チェンマイワットプラタートドーイパーソム寺院学校

チェンマイ旧市街から車で2時間程登った山の上にある寺院併設の小中学校。自宅が学校から離れている生徒たちは、お寺に暮らして勉学に励んでいます。



校舎のある本堂はこの場所からさらに上ったところにあるため、事務所で贈呈式を行うこととなりました。事務所とはいえ、敷地内には立派な建築物が並び、その神聖な雰囲気にも身が引き締まる思いになりました。

白いナーガ像の傍には涸れることのない湧き水を擁した大木があり、また、この場所から動かすと災いが起きると信じられている仏像にお参りをしました。

タイの人たちの信仰の深さを垣間見ることができました。

先生3名、僧侶2名、代表生徒4名が贈呈式に参加。現地協力者のタオさんとUTMOST社の浅田さんご家族が合流し、終始和やかな贈呈式となりました。



タイでは、2019年より学費の無償化が始まりましたが、教員の人件費や運営費は各家庭が負担しています。この学校では、生徒たちがお茶やお米を作って売った収入を学校の運営費に充てています。



この学校では文房具が足りず、特に色鉛筆が望まれていました。ツアー参加者の横尾氏が所属しているEFF様からのご寄付で色鉛筆を追加購入し、後日届けました。EFFの皆様、ありがとうございました。

次に訪れたのはメーホンソン県クンユーム。ミャンマーとの国境を接した豊かな自然に囲まれた地域です。モン族やカレン族などの沢山の山岳民族が沢山住んでいます。農業が盛んですが、他に産業が少なく、タイで一番貧しい県といわれています。

クンユームワット・トーパークンユームは、第二次世界大戦時、インパール作戦の出発地であり、



多くの日本兵が命からがらたどり着いた地。ワット・トーパーには、再び故郷の地を踏むことなくこの地で眠りについた兵士たちを弔う慰霊碑があります。

この慰霊碑を、ウィタヤー校の日本語クラスの先生と生徒たちが毎週清掃してくれています。日本から遠く離れたこの地で、平和の礎を築いた先人たちの安息の場を今も守り続けてくれています。

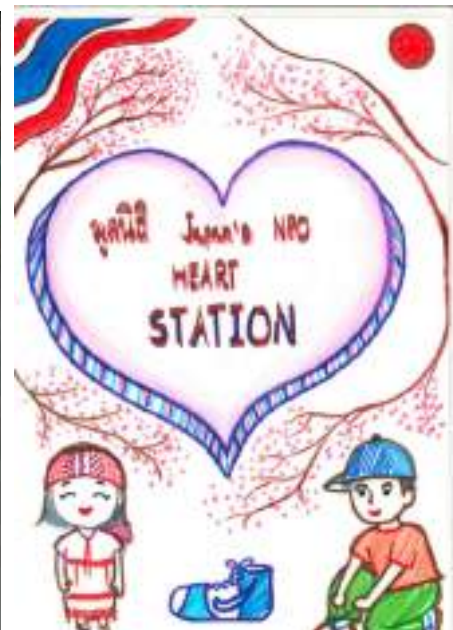
清掃を率先しているのが、長年、ウィタヤー校で教鞭をとっていた蔭山修一先生と彼の後を継いだPawanrat Kunta先生です。清掃の後には、先生が生徒たちにタイ式の焼き肉をご馳走しています。

クンユームでは、年収が1万バーツ(約45,000円)にも届かない家庭が多く、普段は食べたいものを我慢している子どもたち。おなか一杯に食べられる貴重な機会を楽しみにしているそうです。

クンユームウィタヤー校 1,500名の生徒が在籍する中高一貫校。贈呈式では、日本語教室の生徒さんが法被を着て感謝のメッセージを日本語で伝えてくれました。この学校は、生徒数が多く、残念ながら全員に靴を配ることができませんでした。子どもたち皆に靴を渡せるようにまた寄贈したいと思っています。



生徒さんからいただいたイラスト



市立クンユラム小学校

ウィタヤー校での贈呈式を終え、次に向かったのは幼稚園生～小学生300名が通う市立クンユラム小学校。カラフルな教室から笑顔で出迎え



てくれた子どもたち。ミャンマーの国境と近いからか、タナカを頬に塗った子どもたちもいました。皆、この日をとっても楽しみにしてくれていたことが伝わってきました。

驚いたのが子どもたちの礼儀正しさ。先生の指示に従って並び、きちんと順番を守ってくれたおかげで、スムーズに手渡しを行うことができました。



オープニングは、バス★ロビさんのライブパフォーマンス。タイの子どもたちにも馴染みが深い「おどるポンポコリン」タイ語Verを披露してくれました。手拍子したり、踊ったりそれぞれ楽しむ子どもたち。



秋山さんによる空手のパフォーマンスでは、小学生の男の子たちが大盛り上がり。「押忍！」の掛け声が響き渡りました。会場が温まったところで、手渡し会の準備に。サイズ順に一足ずつ靴を並べていきます。



「私はあの靴にする！」と早速お目当ての一足を見つけて目を輝かせる子どもたち。





部屋に並んだ色とりどりの靴はまさに圧巻の一言。



受け取った子どもたちは嬉しそうに「コープカー」と手を合わせてくれました。
「靴で笑顔を届けたい」そんな思いから活動をしてきましたが、まさにその願いが実になった瞬間でした。
意外にも足のサイズが大きめの子が多く、ぴったりのサイズがなかった子がいたことが心残りです。



タイ日友好記念館 手渡し会を終えた私たちが次に訪れたのは、クンユームにあるタイ日友好記念館。館内には、日本語ナレーションの記録映像や日本兵が当時使用していた日用品や衣服なども展示されていて、彼らの暮らしぶりをうかがい知ることができます。



パントーン小学校 この日の昼食は、パントーン小学校併設の展望レストランでいただきました。ここでは、就労支援の一環として生徒さんたちがお仕事をしています。オーダーを聞きに来たのは華やかな民族衣装を纏ったモン族の子どもたち。厨房でも生徒さんが中華鍋を振るって食事を作っていました。目の前に広がる山の緑を眺めながらいただくガパオライスは最高でした。



クンユームに住む山岳民族の多くが農業に従事していますが、前述の通り、収入は少なく苦しい生活を余儀なくされています。学校でいい成績を収め、卒業したとしても、タイではいまだに世襲制が色濃く残っていて、両親のコネがなければ、就職先を見つけることすらままなりません。近年、やっと制定された相続税も形骸化し、「富める者はますます富む」社会構造となっています。タイが「世界の格差を抱える国」といわれる所以です。

私たちがしている活動はほんの小さなことかもしれませんが、旅先で出会った彼らの未来が明るいものになるよう、自分たちにできることを継続していきたいと実感しました。



12/5
THU

3日目に訪れたのはチェンライ。かつてはゴールドントライアングルと呼ばれ、麻薬の原料であるケシ栽培が盛んでした。現在は、王室プロジェクトによってコーヒー栽培などへ代替え作物が進み、今は産地農業と観光の県となっています。

Chiangrai Organic Agroforestry Foundation チェンライにある有機林業財団。山間部で



の農業支援と有機肥料の普及を行い、持続可能な将来を見据えた農法の指導を行なっています。

また、アジアで最初に解禁された医療用大麻の研究を政府と王室より20年以上前から委任され、今回の解禁にあたって大きな役割を果たしました。

現在はタイハーブなどとの相乗効果などに研究を進め、製品化に取り組んでいます。

今回は、こちらの財団が運営するカフェで靴の贈呈式を行い、各地に靴を届けてくれる有志の皆さんが集まってくれました。

タイでは、今年の8月から10月にかけて全国各地で洪水が発生し、多数の死傷者や被災者がでました。

家の一階がほとんど浸水した場所もあり、水が引いた後も、家の泥の片付けや、消毒、持ち出せなかった家財道具の処分など、災害の爪痕は長い期間残ります。

私たちも、現地の方の協力で、被害の大きかったチェンライ、パヤオ県に靴を届けることができました。私たちの集めた靴が少しでも被災者の方たちの力になれることを願っています。



今年10月に発生したパヤオ県の洪水の様子



チェンライドンマダ小学校

パヤオ県タムパラード小学校



チェンライポンプーフエン小学校



収支報告

皆様からいただいたご寄附は以下の活動資金のために活用させていただきました。

項目	金額	適用
作業賃	¥89,682	コンテナ積み込み作業費、手渡しツアーボランティア昼食代など
車両・燃料費	¥45,210	レンタカー、ガソリン代
運賃	¥607,197	20フィートコンテナ輸送費、タイ国内輸送費
租税公課	¥375,257	日本、タイ通関費用
交通費	¥104,573	事務局タイ渡航費用
手数料	¥245,771	コーディネート料など
賃借料	¥575,960	仕分け用靴保管コンテナ置き場代、寄贈用靴保管倉庫賃借料（4月～10月分）
合計	¥2,043,650	

協力団体

Ts Planning Co.,Ltd.
BESS corporation
Aim Thai Intertrade
Earth Friendship Festival
(株)関東ロジスティクス
UTMOST LOGITEC CO., LTD
Lucky Ware House
UNI UNI CORPORATION
ChiangraiOrganic Agroforestory Foundation

Narai CBD .Co., Ltd.
Murakami (Thailand) co.,ltd.
PEC ENGINEERING & CONSULTANT CO.,LTD.
Mr Supot
March Worrawan Duangthet先生
Tの極みさん（よしもとタイ住みます芸人）
西澤さんご夫妻
蔭山修一先生
Pawanrat Kunta先生（順不同）



会員募集中！

私たちSB.HeartStationは日本の子どもたちのおさがりの靴を集め、世界の子どもたちに届ける活動をしています。

靴は、誰にとっても必ず使うもの。

そんな身近なもので誰もが気軽に国際協力ができるところが私たちSB.HeartStationの活動の魅力だと思っています。

私たちが履いていた靴で、学校に通える子どもがいます。

私たちが履いていた靴で、怪我することなく外で思いっきり遊べる子どもがいます。

毎年靴を贈り続け、これまでフィリピン・ミャンマー・タイ・ベトナムの子どもたちに寄贈してきました。

靴を受け取った子どもたちは「ありがとう」「新しい靴を履いて学校に行くのが楽しみ！」と笑顔で喜んでくれています。

お蔭さまで、日本各地の子どもたちから毎日のように靴が届いているのですが、資金集めに難航しており、沢山の靴が、倉庫で眠ったまま。今か今かと現地の子どものもとへ渡る日を心待ちにしております。

「また寄贈してほしい！」「いつになったらまた来てくれるの？」と各地から靴を望む熱い声が届いているにも関わらず、現地の子どものために待ってもらっている状態です。

活動を続けるためには、靴を贈るための費用も必要不可欠です。

応援してくれる会員の方が増えれば、より、沢山の子どもたちのもとへ靴を届けることができます。

これからも子どもたちの笑顔のために、活動を続けていきたいと思っています。

皆様からの温かいご支援を心よりお待ちしております。

支援する

会員になる



正会員1号	100,000円/年
正会員2号	50,000円/年
賛助会員	10,000円/年
サポート会員	5,000円/年

※入会時のみ、別途入会金がかかります。

寄附をする



1,000円からご支援ができます。

いただいた寄付金は靴の輸送費や、ボランティア開催費用、手渡しツアーの活動等に大切に活用させていただきます。

当団体は認定NPO法人です。

年中総寄附金額により寄付金控除（所得控除）

または寄付金特別控除（税額控除）の対象となる場合があります。

参加する

靴仕分けボランティア

子どもたちに寄贈する靴の仕分け、梱包を手伝ってくれるボランティアを募集しております。参加を希望される方は、webサイトよりお申し込みください。

開催：奇数月の第4土曜日

場所：埼玉県さいたま市岩槻区

認定NPO法人SB.HeartStation

〒339-0005

埼玉県さいたま市岩槻区東岩槻5-1-15伊勢三荘13号室

TEL：048-878-8521/FAX：048-878-8522

MAIL:info@sbheartstation.com

URL：https://sbheartstation.com



X



FaceBook